



勉強の秋。テストの復習は「思考回路」の明確化から の巻

後期中間テスト、お疲れさまでした。まずはしっかりと復習をしていきましょう。

復習にあたり、先日の「学習進路講演会」の話も思い出してみましょうか。「アウトプット」が大事なんですね！

Check!

01

成長のカギは「アウトプット」。解き直しはアウトプットの大チャンス！

ただ授業を受けていたり、漢字や単語のインプットをしていたりするのは、身に付けられる力は限定的です。普段から問題集を解くこともアウトプットですが、テストやその解き直しはもっと大きなアウトプットチャンス！ アウトプットすると、不足しているインプットも見えてきます。インプット不足があれば補い、問題を解く考え方に誤りがあれば、正しい考え方を身に付けましょう。

Check!

02

「誤った思考回路」を明確にした上で、「正しい思考回路」を身に付けよう

ところで、解き直しをするとき、正しい(と教えられた)解き方をただなぞって終わりにしていませんか。それだと、自分の思考のクセに気づくことができません。どうして間違えてしまったのか、誤りを生み出している自分の思考回路を分析しましょう。

右は、ある1年生の、英語の解き直しノートの一部です。

良い点その1(楕円の囲み)「なんとなく●●にしてみました」「■■に気をとられすぎた」など、自分の解答時の問題点を明確に言語化しています。このように意識できれば、修正も早い！

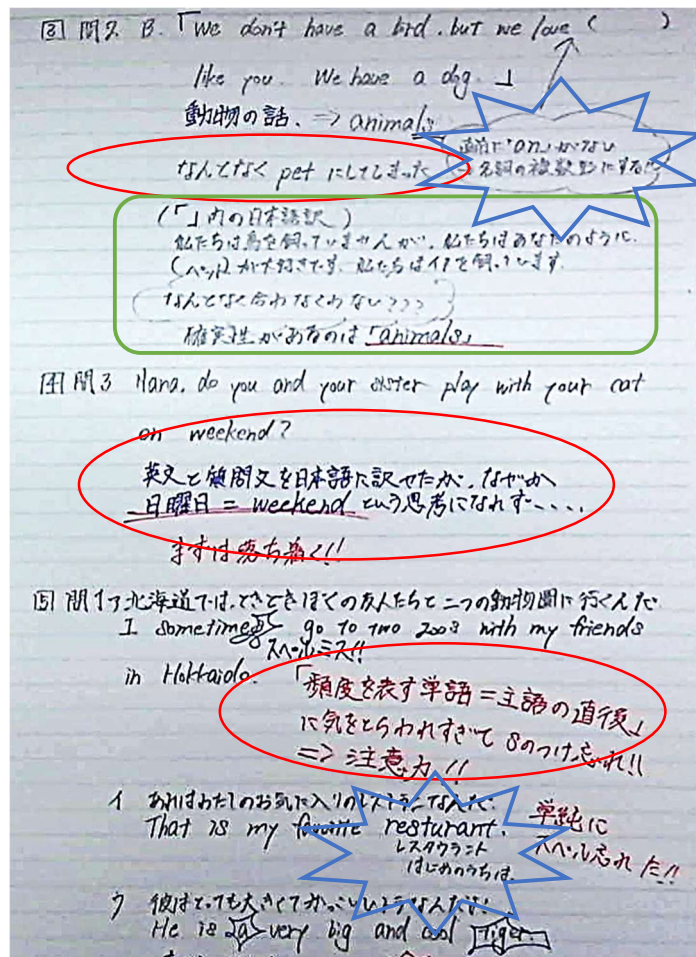
良い点その2(角丸の囲み) 間違いと判断する根拠を探し、自分の言葉で説明しています。自分の言葉で説明する、というのも一種のアウトプットで、大切なことです。

なお、「なんとなく合わなくはない???」とありますが、「なんとなく」ではなくなるまで、踏み込んで考えることが大事！明確になるまで深く考えて言語化すると、論理的に考える力や、考えを明確に言語化する力が身につきます。モヤモヤは大チャンスですよ！

良い点その3(ギザギザ囲み) あちこちに、解答に当たったのポイントや自分なりの覚え方などを書き込んでいます。これも一種のアウトプット！

……もちろん、「漢字や単語、用語を覚えていなかった」なんてこともあるでしょうが、定期テストではそういうことは極力減らしておきたいものです。知識が足りないと思考もうまくできない、ということもあります。知識と思考は両輪なのです。

ともあれ、間違えた問題を、一度なぞって終わりにするのはもったいない！ 徹底活用して、不足しているインプットを補い、深く考える力と、モヤモヤしている考えを明確に言語化する力をつけていきましょう。ということで……



Check!

03

まずは5教科の解き直しをしっかりと！ 12/4の新教研テストに生かそう！



言語化って大事！

学習進路だより

11月号



勉強の秋。テストの復習は「思考回路」の明確化から の巻

二泊三日の国内語学研修、か～ら～の、中間テスト。ハードスケジュールでしたが、みなさん頑張りましたね。知識や考え方を定着させるため、もうひと踏ん張りしておきましょう！

Check!

01

成長のカギは「アウトプット」。解き直しはアウトプットの大チャンス！

「アウトプットが大事」ということは、国内語学研修で実際に英語を使ってコミュニケーションしてきた皆さんには強く実感できたことでしょう。テストやその解き直しも、重要なアウトプットチャンス！ アウトプットすると、不足しているインプットも見えてきます。インプット不足があれば補い、問題を解く考え方に誤りがあれば、正しい考え方を身に付けましょう。

Check!

02

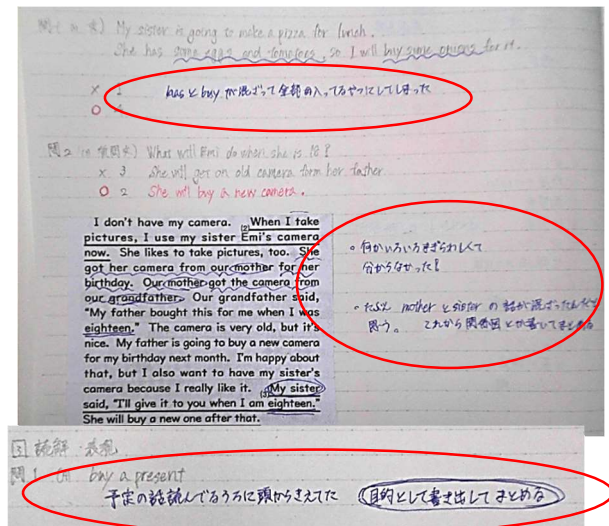
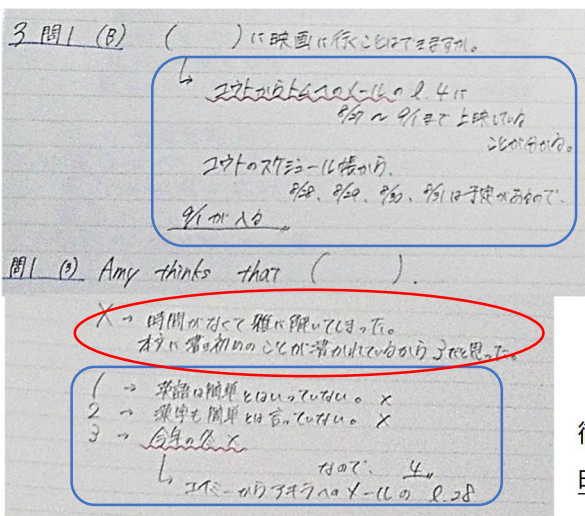
「誤った思考回路」を明確にした上で、「正しい思考回路」を身に付けよう

ところで、解き直しをするとき、正しい(と教えられた)解き方をただなぞって終わりにしていませんか。それだと、自分の思考のクセに気づくことができません。どうして間違えてしまったのか、誤りを生み出している自分の思考回路を分析しましょう。

右と下は、2年生二人の、英語の解き直しノートです。

良い点(楕円の囲み) どう考えて誤答を選んだのかを明確にしています。また、「いろいろまぎらわしくて分からなかった」「読んでいううちに頭から消えてた」など、自分の解答時の問題点を明確に言語化しています。そうすると対応策も明確になりますね。「関係図でまとめる」「目的として書き出してまとめる」、とても有効だと思います！

良い点(角丸の囲み) どうしたら正解が導けるのか、なぜその選択肢を誤りと判断できるのか、その根拠や思考回路を明確にしています。自分なりに整理しているのが良いですね。



ふだんの学習にも言えることですが、テストの復習でしっかりと力をつけるには、次の4点が大切です。

- (1)自分がどのような手順で考え、その結果間違えたのかを明確化する。
- (2)解説を参考にしつつ、納得いくまで考える。「なんとなく」で済ませない。
- (3)それを自分の言葉で明確に説明できるようにする。
- (4)考え方が定着するまで何度でも解いたり触れたりする。

間違えた問題を、一度なぞって終わりにするのはもったいない！

徹底活用して、インプット不足を補い、深く考える力と、モヤモヤしている考えを明確に言語化する力をつけていきましょう。ということで……

Check!

03

まずは5教科の解き直しをしっかりと！ 12/4の新教研テストに生かそう！



味わいつつ切り替え

学習進路だより

11月号



勉強の秋。テストの復習は「思考回路」の明確化から の巻

中間テストを終えてすぐの修学旅行、お疲れさまでした。楽しんでできましたか。留学生との英会話はどうでしたか。さて、テストの結果も返ってきましたね。高校生になるまであと4か月。楽しかった時間の余韻をかみしめつつ、切り替えて復習の時です！

Check!

01

成長のカギは「アウトプット」。解き直しはアウトプットの大チャンス！

「アウトプットが大事」なことは10月の学習進路講演会でも言われていました。テストやその解き直しも重要なアウトプットチャンス！アウトプットすると、インプットの不足も見えてきますよね。インプット不足があればしっかり補い、問題を解く考え方に誤りがあれば、正しい考え方を身に付けましょう。なお、知識の不足部分が多いと、正しい考え方に至れないことがあります。知識と思考は両輪なのです。「どうしても意味がわからない！」というときは、ずっと前のつまづいた時点から振り返り、積み上げていく必要があるかも。急がば回れ！

Check!

02

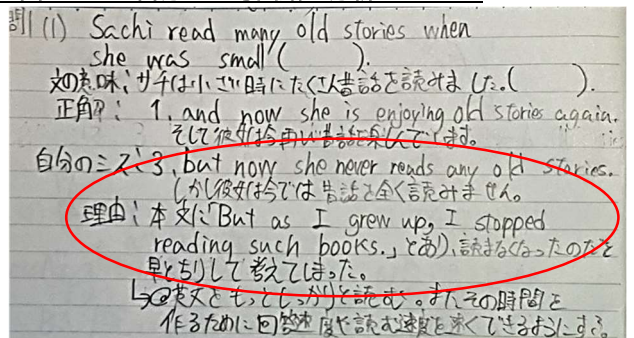
「誤った思考回路」を明確にした上で、「正しい思考回路」を身に付けよう

ところで、解き直しをするとき、正しい(と教えられた)解き方をただなぞって終わりにしていませんか。それだと、自分の思考のクセに気づくことができません。まずはどうして間違えてしまったのか、誤りを生み出している自分の思考回路を分析しましょう。

右は、ある3年生の、英語の解き直しノートです。

良い点(楕円の囲み)自分が間違えた理由をしっかりと分析しています。

これは長文読解の問題でしたが、長文の最初の方を読んで「筆者は昔話をもう今は読んでいないんだな」と早とちりしてしまい、そのあとに筆者の変化が書かれていたことに気づけなかったのが誤答の原因でした。早とちり・思い込みという原因が明確になっているので、次回以降はそういう間違いを減らせるはずです。



左は、別の3年生の解き直しノートです。良い点正解を導くためにはどう考えたらよかったのか、その思考回路が明確化されています。なにより、自分の言葉で説明しているのが素晴らしいです。誤った思考のルートもメモしておく、後々自分の思考のクセが見えてくるかもしれません。

正しい思考回路を身に付けるには、正しいルートをただ書き写すだけではあまり力が付きません。力をつけるには、次の4点が大切です。

- (1)自分がどのような手順で考え、その結果間違えたのかを明確化する。
- (2)解説を参考にしつつ、納得いくまで考える。「なんとなく」で済ませない。
- (3)それを自分の言葉で明確に説明できるようにする。
- (4)考え方が定着するまで何度でも解いたり触れたりする。

日頃の自主学習でもそういうアウトプットをしていくと、深く考える力や、考えを正確に言語化する力もつきますよ！

モヤモヤしている考えやフィーリングをどれだけ言語化できるかは、普段の生活でも大事なことです。数学も、日本語や英語とはまた別の「言語」で、論理に全振りしているところが面白いと思います。「言語」をなるべく使いこなしたいものです。